

習得度確認試験		事例記録	
作成日	2024年11月5日	作成者	〇〇 〇〇
面接日時	202X 年 10 月 X 日（X:00 ～X:50（50分間））		
面接回数	初回面談	面接場所	民間の就労支援機関の相談室

相談者情報

相談者名	Aさん	年齢	30代後半	性別	男性
略歴	アパレル小売業の販売職として5年間勤務。2年前に契約社員から正社員になった。				
家族構成	妻、子ども(2歳)。				
備考	(面接時の印象、その他特記すべき事項など) 物腰柔らかく、人当たりは良さそう。一方、本音が見えない感じもした。				

事例の概要

来談に至る経緯、目的
現在勤めている会社で店長職の打診を受けた。ありがたいと思うが自分に務まるか自信がないので、どうしたらいいか相談したいとのこと。当該就労支援機関のホームページから相談を申込まれた。
相談内容
Aさんは大学卒業時に就職活動がうまくいかなかったこともあり、非正規で仕事を転々としていた。 30歳になったことを機に「正社員になりたい」と思い、当時契約社員として入社した今の会社で努力を重ね、2年前に正社員になることができた。正社員になったことを機に結婚もし、子供も生まれ、今の生活には満足している。そんななか、先日店長職昇進の打診を受けた。しかし、打診を受けるか、断るか、どうしたらいいか迷っているとのことだった。 今の仕事内容について一通り話を伺った。そのうえで 店長職について尋ねたところ、「自分に務まるか自信がない。自分は人を引っ張っていくタイプではないので、店長には向いていないと思う」、「店長になると、今よりもかなり忙しくなるようだし、責任も増えるようですごく大変そうだと思う」との言葉が返ってきた。「正社員にもなれたし、それだけで十分満足なのかもしれません」とのこと。また、「妻がどう思うかも気になるが、小さい子供もいるので、今以上に忙しくなるような話は妻にも言いにくい」との発言もあった。 一方、「自分に打診してくれたこと自体はありがたいと思っている。せっかくの打診してもらって断るのも、もったいない気もする」、「店長になると給与も上がるようだ。ローンもあるので、それは良いかもしれない」、などと迷っている様子が見えられた。 また、返事の期限もあり焦っているとのことだったので、会社でどなたかに相談したかを尋ねてみたが、「なかなか人には言いにくい話なので、特にはしていない」とのこと。 Aさんの話を聞き、私(キャリアコンサルタント)の方からは、せっかくこれまでがんばってきたのだから迷っているのなら店長としてやってみたらどうか、店長職になれば給与等の面でも今より良くなり家族のためにもなるのではないかと助言した。しかし、Aさんは「そうでしょうか」と納得されていない様子だった。

考察

相談者の訴える問題 (主訴)	現在勤めている会社で店長職の打診を受けた。ありがたいと思うが自分に務まるか自信がないので打診を受けるか、断るか、どうしたらいいか迷っている。
キャリアコンサルタントが 捉えた問題	【問2】①考察「キャリアコンサルタントが捉えた問題」に記述すべき内容について、あなたの考えを根拠も含めて記述してください。(150字程度) ⇒解答用紙 【問2】① の欄に記入してください。
今後の支援方針 (目標・方策など)	【問2】②考察「今後の支援方針(目標・方策など)」に記述すべき内容について、あなたの考えを記述してください。(150字程度) ⇒解答用紙 【問2】② の欄に記入してください。
備考 (留意すべき事項、 対応の期限など)	「返事の期限があり焦っている」とのことだったので、返事の期限を確認し、それに留意して進める。

所感

キャリアコンサルタントとして、この面接でできたこと、改善したいこと、今後の課題など
【問2】③所感に記述すべき内容について、この事例を担当したキャリアコンサルタントが、この面談で「できていたこと」、「改善すべきところ」を1点ずつ、あなたの考えを記述してください。(150字程度) ⇒解答用紙 【問2】③ の欄に記入してください。